

【復興関連道路】

(主) 重茂半島線安全祈願祭・着工式を開催しました！

～ 本格復興完遂年！路線全線で工事が本格化 ～

道路建設課

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が「復興関連道路」として、山田町1工区と宮古市6工区の全7工区で道路改築事業を進めている主要地方道重茂半島線について、平成28年1月7日に路線全体の着工式を開催しました。

当日は、県、宮古市、山田町、重茂漁業協同組合をはじめとする地元関係者、工事関係者等約150名が出席しました。また、着工式には、重茂半島の将来を担う地元の宮古市立重茂小学校の児童（4年生～6年生）の皆さんにも参加していただきました。

達増知事からは「県では、復興計画において、重茂半島線を「復興関連道路」に位置付け、東日本大震災津波と同規模の津波が発生した場合でも浸水しない、災害に強い道路として整備を進めている。今年を「本格復興完遂年」と位置付け、本格復興をやり遂げるよう重茂半島線の早期完成に向けて一層取り組む」との力強い式辞がありました。

また、重茂小学校児童からは、『「復興関連道路」重茂半島線整備への想い』の発表があり、児童全員での呼びかけの後、6年生の伊藤美咲さんから「重茂も5年前の東日本大震災では大きな被害を受けました。道路が通れないために、何日も食料や燃料の供給が途絶え、重茂のみんながとても苦しい生活を送りました。この重茂半島線を作ることを決めてくださった岩手県や宮古市の関係者の皆さん、本当にありがとうございました。一日も早く道路が完成することを願っています。」との作文の朗読があり、最後に重茂の復興を願って児童全員で「輝く海の重茂に」の合唱が行われ、会場は感動に包まれました。



知事による式辞

重茂小学校児童からの発表

重茂半島の着工を祝う重茂小学校児童の皆さん

また、当日は、重茂半島線の本格着工に伴い、受注者の主催により、工区全体の安全祈願祭も併せて開催され、工事期間中の安全と早期完成を祈念しました。

県では、今年を「**本格復興完遂年**」と位置付け、本格復興をやり遂げ、次につながるよう強力に復興を推し進めることとしており、**重茂半島線の道路整備についても、早期完成に向けて全力で事業を推進**していきます。

～ 「復興関連道路」主要地方道重茂半島線の概要 ～

主要地方道重茂半島線は、山田町大沢地内から宮古市津軽石地内に至る**重茂半島を周回する唯一の道路**であり、水産業をはじめとした産業活動の物流ルート、また地域住民の生活道路として重要な役割を果たしています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波では、半島東部に位置する姉吉地区で国内観測史上最も高い40.5mの津波遡上高が観測されるなど、**浸水等により同路線が各地で寸断**され、**住民の方々が長期間孤立**するなど**甚大な被害**が発生しました。

このため、県では、岩手県東日本大震災津波復興計画の三陸復興道路整備事業において、同路線を「復興関連道路」に位置付け、**山田町と宮古市の全7工区で、東日本大震災津波と同規模の津波が発生した場合でも浸水しない道路の整備**を進めています。

被災状況

里地区：落橋



千鶏地区：道路崩落



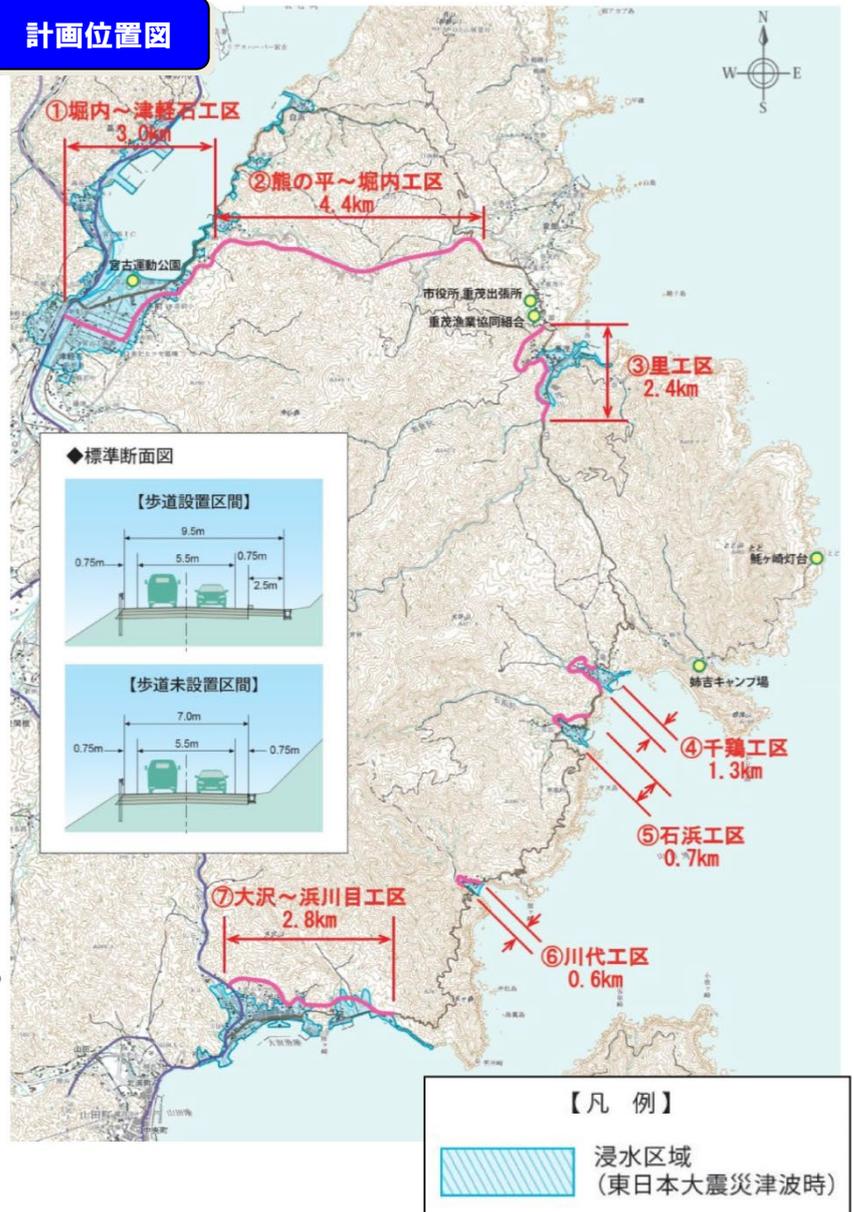
川代地区：道路浸水



浜川目地区：道路崩落



計画位置図



主要工区の事業概要

